事務事業調書(通常評	価事業 事後	後評価)							
事務事業名	e — t	ownうじし	ヽえ管理事業			事業開	開始年度 平	成27年度		
担当課	産業経	E済部 商工額	見光課		担当者	山山	田知明			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	つ商工業基	盤の充実と強	能化				
	基本事	基本事業 01 商業の活性化								
事業の目的	・eブ	・e プラザを拠点とした交流人口の増加								
争未の日町	・テナ	ント出店によ	る事業者育成(ロ	中心市街地	への出店に繋	がる)				
事業の概要	eプラ	ザ壱番館 1	階:多目的施設》	及び事務所	(観光案内)	・2階:会議	室			
サ未の似女		ザ参番館 テ	ナント(4店舗)							
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	平成30年	度		元年度		2年度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績			績		á初		
		総事業費	11, 203		5, 8	25	6,	121		
■前年度の事業	分析【	[評価 (Check)								
	指標		漂名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	区分	101	ホロ が	+12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	インキュベータ	施設出店者数	人	4	4	4	4		
	成果	中心市街地への	出店者数	店舗	0	0	1	1		
	評価			○多少は遺		達成できず				
達成度の			ナント(インキュ	ベーターカ	色設)4店舗だ	が維持されてい	いる。			
評価と説明	説明	1								
				- A			A / .			
見直し余地	判定		に見直し可能(ン余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし			
		(Action)		<u> </u>						
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 ┃●拡大	、〇現状 〇縮小		業務量		●現状 〇縮小	١		

事務事業調書(後評価)							
事務事業名	地場産	Ĕ商品開発普	及事業			事業開	始年度 平	成24年度		
担当課	産業経	経済部 商工	観光課		担当者	山	田知明			
■事業の執行計		·画(Plan))								
	政策	04		える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策									
	基本事	事業 01	商業の活性化	<u></u>						
事業の目的	地元産	小麦を使用し	した「氏家うどん _」	を取り扱	う飲食店、製	麺所ができる	0			
事業の概要	- 010.		普及を推進するたと	め氏家商工	会に補助金を	交付する。				
■事業実施結果	【実施	i (Do)								
		年度	平成30年	度	令和え			2年度		
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実	績	놸	首初		
		総事業費	800		80	00	8	00		
■前年度の事業		【評価(Checl	()							
	指標	±=	標名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	区分	7⊨	11示121小	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	氏家うどん取	吸店(飲食店)の数	店	19	19	19	20		
	評価	」●達成、	概ね達成した(〇多少は遺	成した Oi	産成できず		<u>, </u>		
達成度の			ん認証事業所につ				8拡大の取組(こより、小売		
評価と説明	説明		舗増加することが							
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	HII [1011]		77120711011111	, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -,	/ A A M /	_ 0 - 1 - 1 - 0		
見直し余地	判定	〇数年内	引に見直し可能 (●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇	余地なし			
		(Action)								
事業の方向性		し継続 ●	現状どおり継続	O廃止・	完了					
資源方向性			大 ●現状 〇縮小	\	業務量	○拡大	現状 〇縮小	\		

事務事業調書(通常評	中価事業 事後	後評価)								
事務事業名	さくら	ブランド認記	正事業			事業開	開始年度 平	成25年度			
担当課	産業経	経済部 商工額	見光課		担当者	山	田知明				
■事業の執行計		·画(Plan)】				·					
	政策	政策									
総合計画体系	施策	施策									
	基本事	第業 01	商業の活性化	ե							
事業の目的	さくら	市の特産品を	ブランドとして記	忍証し、情	報発信するこ	とにより、地	域(経済)の	活			
争未の日的	性化を	図る。									
事業の概要			ブランドとして記	忍証する事	業を行う。						
争未の似安											
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	平成30年	度	令和力	元年度	令和	2年度			
事業費の推移	実絹	漬/当初予算	実績		実	!績	当初				
		総事業費	1, 414		1, 1	42	3, 2	知明			
■前年度の事業		(評価 (Check)									
	指標	tet		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	区分	JH1	宗 12 17	平 四	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	ブランド認証品	日粉	件	26	26	28	30			
1日1示り71年19	及未	フランド心皿品	口奴	IT	20	20	20	30			
	成果		店舗数(氏家うど	店	31	32	34	36			
		んは地区内の飲		<i>'</i> -			04	30			
	評価			●多少は遺		達成できず	•				
達成度の											
評価と説明	説明										
		・パッケ-					きる補助制度を	を活用でき			
見直し余地	判定	■ ●数年内	に見直し可能 (⊃余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし				
	71	(Action)]									
事業の方向性	●見直		見状どおり継続	〇廃止・							
資源方向性	予算	算額 ●拡大	、〇現状 〇縮小		業務量	: ●拡大()現状 〇縮小	\			

	通常評	平価事業 事後	(全)						
事務事業名	企業認	秀致推進事業				事業開	始年度 平	成19年度	
担当課	産業総	圣済部 商工額	見光課		担当者	f山山	田知明		
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】							
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	り商工業基	盤の充実と強	化			
	基本引	事業 02	工業の振興						
事業の目的	優良な	企業がさくら	市内に立地する						
事業の概要			移転意向の情報で 係課との調整を		仲介役となり 場等誘致条例			総	
■事業実施結果	【実施	瓦 (Do) 】							
		年度	平成30年	度	令和え	元 年度	令和	2年度	
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績			
		総事業費	2, 698		3, 4	04	3, 6	知明 を促す 3 総 の支出 令和2年度 当初 3,692 令和2年度 十画 1 「本記事業を表現して、「おおり」とは、「おいり」とは、「ないり」は、「ないり」は、「ないり、「ないり」は、ないり、「ないり、「ないり」は、「ないり」は、「ないり」は、「ないり、「ないり」は、「ないり」は、「	
■前年度の事業	分析	【評価 (Check)							
	指標	tie t		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	区分	JH1	宗口你	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	工場誘致条例に 工場等の数	基づく奨励金対象	企業数	1	1	1	1	
	評句	■ ●達成、	概ね達成した (○多少は遺	成した Oi	達成できず			
達成度の		地道な1	企業訪問・情報収	集活動に。	より、企業立地	也奨励金指定事	事業者の指定	1 件(次年度	
評価と説明	説明	月 より3年間	間奨励金交付とな	:る。)。『	틴なる企業誘致	女の推進のため	か企業誘致条例	列の改正を実	
		施した。							
見直し余地	判员	2 〇数年内	に見直し可能(●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ○	余地なし		
■将来方向性【	71	(Action)]							
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	

事務事業調書((全)					
事務事業名	中小企	業振興資金關	性資事業			事業開	始年度 平月	成26年度
担当課	産業経	済部 商工額	見光課		担当者	山山	田知明	
■事業の執行計	画【計							
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	化		
	基本事	業 03	中小企業の約	圣営基盤の	強化支援			
古世の口め						の経営支援を	行う目的で制力	定
事業の目的			制度。(中小企					
古来の畑田							率は4倍	
事業の概要			_	_				
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	平成30年	度	令和元	正 年度	度 令和2年度 当初 602, 100 和元年度 令和2年度 令和3年度 実績 計画 計画 2, 400, 000 2, 900, 000 2, 400, 0 ごできず ない中小企業者も経営の安定化を図 必要 ○余地なし	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	601, 183		600,	685	602,	100
■前年度の事業		評価(Check)						
	指標	+6+	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	区分	7日1	宗句 你	丰位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	融資枠		千円	2, 400, 000	2 400 000	2 000 000	2 400 000
打印信のが正何タ	八木	你只什		TH	2, 400, 000	2, 400, 000	2, 900, 000	2, 400, 000
	評価		概ね達成した (達成できず		
達成度の						団でない中小ゴ	È業者も経営σ)安定化を図
評価と説明	説明	ることがっ	できているため成	果は上がっ	っている。			
見直し余地	判定	●数年内	に見直し可能 (○余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇:	余地なし	
■将来方向性【	71 1	Action)]						
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小	·	業務量	●拡大()現状 〇縮小	

	通常評価		(評価)							
事務事業名	商工会	振興事業				事業開	開始年度 平	成26年度		
担当課	産業経	済部 商工観	見光課		担当者	f	田知明			
■事業の執行計	画【計画	画(Plan)】								
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	の商工業基	盤の充実と強	癿				
	基本事	基本事業 03 中小企業の経営基盤の強化支援								
事業の目的	商工会の運営を支援し、商工会事業により市内事業所の経営支援が行われている。									
事業の概要 商工業の振興のための事業補助として、経営改善・普及事業及び地域振興事業の50%以 内で、市長が定めた額内において氏家商工会・喜連川商工会へ補助する。										
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	平成30年	·度	令和え	元 年度	令和	2年度		
事業費の推移	実績	i/当初予算	実績		実	績	7	前初		
	級	8事業費	19, 269		19, 2	279	19,	336		
■前年度の事業	分析【記	評価 (Check)								
	指標	±5.1	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	区分	181	示 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	- 単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	商工会登録会員	の数	人	963	947	947	947		
	評価	〇達成、	既ね達成した(●多少は遺	[成した 〇〕	達成できず				
達成度の		社会情勢の	D影響などにより	両商工会	ともに会員数な	バ減少となりる	ましたが、中4	ト・小規模事		
評価と説明	説明	業者の支持	暖の強化、地域産	品等の消費	貴拡大市場開拓	Eへの取り組み	み、消費増税!	こ向けた支援		
		体制の強化	比など、市内商工	業振興のか	こめ様々な事業	きを実施しまし	った。			
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇	余地なし			
■将来方向性【	改善(A	Nction)								
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	○廃止・						
資源方向性	予算	額 〇拡大	:●現状 ○縮小	\	業務量	○拡大	●現状 〇縮小	\		

事務事業調書(F		後評価)										
事務事業名	さくら	方市中小企業區	蚀資振興会補助事	業			開始年度 平	成26年度					
担当課	産業総	経済部 商工額	見光課		担当者	f	田知明						
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】											
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤								
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	化							
	基本事	基本事業 03 中小企業の経営基盤の強化支援											
事業の目的			小企業の資金調道	達が円滑に	行えるととも	に、専門家に	よる融資審査	が					
サネッロリ	され、	融資の安全性	<u>:が高まる。</u>										
事業の概要			る制度の見直しス	及び融資審	査事務を行う	機関(氏家支	部・喜連川支						
		対する補助金	. 0										
■事業実施結果	【実施	E (Do)											
		年度	平成30年	度	令和え			2年度					
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績			績		首初					
		総事業費	200		20	00	2	.00					
■前年度の事業		【評価(Check)											
	指標	- 培:	標名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	区分	181	未11 1小	辛匹	実績	実績	計画	計画					
指標の推移	成果	各支部の保証料	.補助件数	件	136	99	350	180					
リロリホマンリエリタ	12.7	ロス即の休皿行	1m 2911 3X	11	100	33	000	100					
	成果	損失補償交付件	.数	件	2	1	0	0					
	774714					'	Ľ	ľ					
, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	評価		概ね達成した(●多少は遺		達成できず							
達成度の			等の影響により、	保証料補助	力件数、保証 #	料額ともに減り	りとなった。						
評価と説明	説明	月											
				<u> </u>	. 		A 1.1 /. 1						
見直し余地	判定		に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	<u>余地なし</u>						
	71 -	(Action)]	= 11: 13 1										
事業の方向性	10見間	重し継続 ●耳	見状どおり継続	〇廃止・	完了								
					資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小								

	F		(全)							
事務事業名	市中小	丶企業融資保 記	正料補助事業				始年度 平	成26年度		
担当課	産業総	経済部 商工額	見光課		担当者	山山	田知明			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	つ商工業基	盤の充実と強	能化				
	基本事	基本事業 03 中小企業の経営基盤の強化支援								
事業の目的	市内中	小企業者の資	金調達が円滑に行	うわれてい	る。					
事業の概要	営支援	そう。	活用に伴う県信月	用保証協会	への保証料を	全額補助し地	元中小企業の	経		
■事業実施結果	【実施	(Do)]								
		年度	平成30年	度	令和え			2年度		
事業費の推移		績/当初予算	実績			績		初		
		総事業費	10, 830		7, 2	63	18,	000		
■前年度の事業	分析【	【評価 (Check)								
	指標	指	漂名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	区分	161	ホロ が	+ 12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	保証料の額		千円	10, 830	7, 263	88, 000	18, 000		
	成果	融資実行件数		件	135	94	350	180		
	評価	■ ■達成、	概ね達成した (3多少は遺	屋成した 〇道	達成できず				
達成度の		社会情勢等	等の影響により減	少となりる	ました。					
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ○	余地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	〇見直	重し継続 ●理	見状どおり継続	○廃止・						
資源方向性	予算		、〇現状 〇縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小			

事務事業調書(· / - · · · / / ·	- · · · ·	(全)						
事務事業名	中心す	5街地活性化 推					開始年度 平	成26年度	
担当課	産業経		見光課		担当者	山山	田知明		
■事業の執行計									
	政策	04	くらしを支え						
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	10000000000000000000000000000000000000			
	基本事		まちなかのに						
事業の目的	補助金	を活用して、	中心市街地に商店	吉が出店し	賑わいを創出	する。			
事業の概要	〇空き	店舗活用促進	事業費補助金 〔	1)12月分家	賃の1/2又は2	5万円のいずオ	ιか少ない額。	2	
争未の似女			は40万円のいずれ	か少ない客	頁。				
■事業実施結果	【実施	(Do)]							
		年度	平成30年	度	令和 5			2年度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	1, 316		1, 3	41	3, 2	275	
■前年度の事業		評価 (Check)							
	指標	塩土	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	区分	181	宗句 你	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	補助金を活用し	た出店件数	件	2	2	5	5	
	成果	補助金を活用し 件数	て賑わい創出のべ	件	17	19	24	29	
	評価	i 〇達成、	既ね達成した(●多少は遺	i成した Oi	達成できず	-		
達成度の		市、商工会	会、金融機関にお	いて、空き	き店舗情報や、	補助制度・闘	強資の案内なる	ビ連携して行	
評価と説明	説明		できた。市内の空	き店舗状況	兄を把握する <i>†</i>	とめ、商工会と	上連携し商店往	封アンケート	
	を実施した。								
見直し余地	判定	2 〇数年内	に見直し可能(●余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ○	余地なし		
■将来方向性【	71 -	Action)]							
事業の方向性	●見直		見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小	١	業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	

	通常評		(評価)							
事務事業名		駅本陣運営事	業				始年度 平	成16年度		
担当課	産業経	済部 商工額	見光課		担当者	f	田知明			
■事業の執行計										
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	り商工業基	盤の充実と強	化				
	基本事	業 04	まちなかのに	こぎわい創	出					
古巻の口が	・さく	ら市民並びに	観光客が快適に、			する。				
事業の目的	・テナ	ント出店によ	る事業者育成(ロ	中心市街地	への出店に繋	がる)				
古米の無声			場所の提供、公気							
事業の概要	2階:									
■事業実施結果		(Do)								
		年度	平成30年	度	令和え	元 年度	令和	2年度		
事業費の推移	実績	i/当初予算	実績		実	績	74	i初		
	松	8事業費	4, 288		3, 1	22	4, 753			
■前年度の事業		評価 (Check)								
	指標	+6+	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	区分	181	示句例	单位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	会議室利用回数		回	11	16	15	15		
担保の推修	八千	云硪至利用凹致		Ш	11	10	10	10		
	評価	●達成、	既ね達成した(○多少は遺	成した Oi	達成できず				
達成度の		会議室の利	引用状況は16件 ((5件増)						
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇	余地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		し継続 〇羽	見状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小										

事務事業調書(通常評価	<u> </u>	(評価)					
事務事業名	中心市街	釪地商店街縣	主車場確保対策事	業		事業開	開始年度 平	成26年度
担当課	産業経済	斉部 商工額	見光課		担当者	山山	田知明	
■事業の執行計	画【計画	🎚 (Plan) 】						
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	り商工業基	盤の充実と強	能化		
	基本事業	集 04	まちなかのに	こぎわい創	出			
事業の目的	買物客の)駐車場が確	保されている					
事業の概要			買い物客の駐車場				は、市営駐車	場
		<u> からの負担</u>	金で賄われている	<u>るため、市</u>	の費用負担は	ない。)		
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	平成30年	度		元年度	2年度	
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初	
	1.0	事業費	503		3	14	3	15
■前年度の事業		平価 (Check)						
	指標	指	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	区分	161	ホコリツ	+12	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果年	間における駐	車場閉鎖日数	日	0	0	0	0
	評価	●達成、	既ね達成した (○多少は遺	成した 〇道	達成できず		
達成度の		年間を通し	、て特に問題なし	•				
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (●余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ○	余地なし	
		ction)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,	2.000			
事業の方向性	〇見直 l		現状どおり継続	O廃止・	完了			
資源方向性	予算		、●現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	·

事務事業調書(通常評価	西事業 事後	(評価)								
事務事業名	商業また	ちづくり団体	育成事業			事業開	開始年度 平	成26年度			
担当課	産業経済	幹部 商工観	光課		担当者	f 山山	田知明				
■事業の執行計	画【計画	(Plan)									
	政策										
総合計画体系	施策	近策 安定と発展の商工業基盤の充実と強化									
	基本事業	美 04	まちなかのに	こぎわい創	出						
事業の目的	商業まち	っづくり団体	の活動が活発に行	うわれてい	る。						
事業の概要	(1) 2		に活動しているD くり委員会 (2)			ト実行委員会					
■事業実施結果	【実施((Do)									
		年度	平成30年	度	令和え	元 年度		2年度			
事業費の推移	実績/	/当初予算	実績		実	績		i初			
		事業費	422		42	22	4	22			
■前年度の事業		呼価 (Check)									
	指標	t⊵±	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	区分	181:	ホ1口 1小	辛匹	実績	実績	計画	計画			
指標の推移		i業まちづくり iの数	団体が主催する事	件	14	6	6	10			
	評価	□○達成、ホ	既ね達成した(●多少は遺	[成した 〇〕	達成できず					
達成度の		コスプレ指	最影会の参加者減	のため回数	数が減少した。						
評価と説明	説明										
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇	余地なし				
		ction)									
事業の方向性	〇見直し	レ継続 ● 明	状どおり継続	〇廃止・	完了						
資源方向性	予算額		: ●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	١			

事務事業調書(<u> </u>	後評価)					
事務事業名	商店往	f街路灯電気 料					始年度 平月	成26年度
担当課	市民生	E活部 生活球	環境課		担当者	町	田 健二	
■事業の執行計		·画(Plan)】						
	政策	04	くらしを支え					
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	化		
	基本事	事業 04	まちなかのに	こぎわい創	出			
事業の目的	商店往	商店街街路灯を維持することで商店会地域の防犯・安全を確保する。						
事業の概要	市が中減し、		化を推進するたる 犯、安全を確保する		の1/2を補	助することで	地域の負担を	軽
■事業実施結果	【実施	(Do)]						
		年度	平成30年	度	令和元	正 年度	令和2	2年度
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	935		93	39	1, 0	34
■前年度の事業		【評価 (Check)						
	指標	坦		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	区分	181	宗石が	丰四	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動	電気料補助額		円	934, 620	939, 140	1, 034, 000	941, 000
	評価	■ ■達成、	概ね達成した(○多少は遺	成した 〇道	産成できず		
達成度の			汀数を確認した上	での助成で	であるため			
評価と説明	説明	説明						
日本1人址	네네르		1. 日本上 古外	^ <u>^</u> ###	· フ ムミーナ * n + 日	B 4 5 2	<u> </u>	
見直し余地	判定		に見直し可能(() 示地はめ	るがまだ時間	ョか必要 ●	余地なし	
	71	(Action)	ロルドナンロを乗り	O 1	= -			
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小	١	業務量	○拡大	現状 〇縮小	

,	F		(全)						
事務事業名	草川オ	Kと緑の散歩i	直街路灯電気料 補	輔助事業			始年度 平月	成26年度	
担当課	市民生	E活部 生活斑	環境課		担当者	町	田 健二		
■事業の執行計		·画(Plan)】							
	政策	策							
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	<u> </u>			
	基本事		まちなかのに						
事業の目的			路灯を維持するた		の1/2を補	助することで	地域の負担を	軽	
予未の口口			犯、安全を確保す						
事業の概要			環として設置した	た街路灯で	、行政区で支	払っている電	気料の半額の	補	
		<u>- 交付する。</u>							
■事業実施結果	【実施	i (Do)							
		年度	平成30年	度	令和え		令和2		
事業費の推移		績/当初予算	実績		実			初	
		総事業費	252		24	13	24	14	
■前年度の事業		【評価 (Check)							
	指標	指	漂名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	区分	, H	ж. П Лу.	— <u>—</u>	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	電気料補助額		Ιн	251, 510	242, 910	244, 000	244, 000	
10 100 10 10	1123	-Bart Hillians and			201, 010	212, 010	211,000	211, 000	
	== /-		Ing 1 3+ -15 1 1	0.4.4.5		+			
\+ - \ -\-	評価			〇多少は遺		達成できず			
達成度の	= 1/ 51		汀数を確認した上	での助成で	である				
評価と説明	説明								
	1015	0 *L F ±		<u> </u>	. 7	81831 ■	A 116.45.1		
見直し余地	判定		に見直し可能(○ 余地はま	るがまだ時間	引か必安 ●	<u>余地なし</u>		
	71 -	(Action)	D 17 18 48 11 600 64	O = 1	= -				
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・		1044	11111111111111111111111111111111111111		
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 〇縮小	`	業務量	○拡大	現状 〇縮小	1	

事務事業調書(後評価)						
事務事業名		易改修事業					事業開	始年度 平	成23年度
担当課	建設音	8 都市整備	課		担	当者	鈴:	木 教史	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)							
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	02				と強化			
	基本事	事業 04	まちなかの	こぎわい創	出				
事業の目的	JR氏家	『駅東口・西口	コ広場の賑わいと			門の刑	 杉成		
事業の概要	修繕・	改修工事、約	推持管理業務委託	を実施する	0				
■事業実施結果	【実施	ī (Do)]							
		年度	平成30年	·度	令	·和元年	·度	令和	12年度
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実績		7	当初	
		総事業費	2, 055			1, 193		3,	511
■前年度の事業	分析【	【評価(Checl	()						
	指標	+1:	 諸標名称	単位	平成30年	度一令	和元年度	令和2年度	令和3年度
	区分	f∈	1保石外	単位	実績		実績	計画	計画
指標の推移	成果	修繕・改修・	管理した施設数	件	2	3		3	3
	評価			○多少は遺			えできず		·
達成度の		環境や景	:観に配慮した維持	管理や修繕	善を実施し	たこと	により、ヤ	快適な活気あ 。	ふれる駅前広
評価と説明	説明	場となっ	た。						
見直し余地	判定	〇数年内	引に見直し可能 (〇余地はあ	るがまだ	時間が	必要 ●:	余地なし	
		(Action)							_
事業の方向性		1し継続 ●	現状どおり継続	○廃止・					
資源方向性			大 ●現状 〇縮小		業務	务量	○拡大 ●	現状 〇縮小	١

事務事業調書((全)					
事務事業名	わいわ	い広場管理選	運営事業			事業開	始年度 平原	成27年度
担当課	産業経	済部 商工額	見光課		担当者	山	田知明	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	の商工業基	盤の充実と強	化		
	基本事	業 04	まちなかのに	こぎわい創	出			
事業の目的	喜連川	商店街の賑わ						
古巻の畑西	空き店	舗となってい	るJA旧喜連川3	支所(現和	い話い広場)	の利活用を図	り、喜連川商	店
事業の概要			る。和い話い広り					_
■事業実施結果								
		年度	平成30年	度	令和え	正 年度	令和2	2年度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績	実績		実績		初
	Į.	総事業費	11, 216		43, 6	627	12, 6	635
■前年度の事業	分析【	評価(Check)						
	指標	+6+	 票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	区分	181	宗	中位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	来店した観光客	の数	件	1, 558	1, 349		1, 500
	評価				を成した 〇道			
達成度の			断工会に委託し、					
評価と説明	説明		点として商店街の			らことができた	ヒが、年度末カ	\ら新型コロ
			こより観光客数が			リ用地、建物を	上購入した。	
見直し余地	判定		に見直し可能(●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ○	余地なし	
■将来方向性【	71 1	Action)]						
事業の方向性	●見直		見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	額 〇拡大	、●現状 〇縮小	1	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

			(全)					
事務事業名	喜連川地区観光商業施設利用促進事業 事巣川地区観光商業施設利用促進事業 事巣川地区観光商業施設利用促進事業 事業開始年度 平成27年度						成27年度	
担当課	産業経	経済部 商工額	見光課		担当者	山	田知明	
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】						
	政策	04	くらしを支え					
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	ì化		
	基本事		まちなかのに					
事業の目的			当該施設を維持領		の駅やお丸山	公園などを含	んだ周遊ルー	١
ナルジロロ			地の活性化を図る					
事業の概要	喜連川	地区観光商業	施設の整備及び	管理				
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	平成30年	度	令和え		令和2	2年度
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初	
	i	総事業費	3, 817		3, 6	23	3, 9	98
■前年度の事業		評価 (Check)						
	指標	t⊑ t		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	区分	181	宗石が	辛四	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	来館者数		人	6, 615	2, 056	2, 100	2, 100
					· ·		,	ŕ
	評価	i ●達成 :	概ね達成した (3多少は遺	成した 〇道	産成できず		
達成度の	н і ін		<u> </u>				プかどにより着	効活用が図
評価と説明	説明			יאיניי וואַלט		, ,,,,,,	, & C C &) F	
	עי טענו	, ,,,,,,						
見直し余地	判定	? 〇数年内	に見直し可能(●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ○	余地なし	
		Action)	22 - 2110	,	2.0.0			
事業の方向性			見状どおり継続	O廃止・	完了			
資源方向性		算額 〇拡大		- 1, 1	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書((と) (全) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注							
事務事業名	駅前え	を流拠点整備事	業					成29年度		
担当課		産業経済部の商工観光課 担当者 世紀 雅								
■事業の執行計		·画(Plan)】								
	政策	04	くらしを支え							
総合計画体系	施策	策								
	基本事	第 04	まちなかのに	こぎわい創	出					
事業の目的	さくら	市玄関口であ	る氏家駅前に交流	流拠点を設	置し、さくら	市全体のPR	を促進する。			
事業の概要	氏家駅	間に交流拠点	施設を整備する。	,						
■事業実施結果	【実施	i (Do)								
		年度	平成30年	度	令和え	年度	令和:	2年度		
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	績	当初			
		総事業費	26, 974		()		0		
■前年度の事業		(評価 (Check)								
	指標	tet		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	区分	1日1	宗10 170	丰位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	施設利用者		人	39, 930					
	成果	観光入れ込み客	数	人	1, 895, 294					
	評価	■ ●達成、	概ね達成した (○多少は遺	を成した 〇章	権成できず				
達成度の		施設利用	者については、様	々な展示	ウイベントのタ	加果もあり計画	『を大きく上』	回る結果と		
評価と説明	説明	なった。								
見直し余地	判定	■ ●数年内	に見直し可能 (○余地はあ	るがまだ時間	引が必要 O:	余地なし			
■将来方向性【	改善((Action)]								
事業の方向性		1し継続 ○3	見状どおり継続	●廃止・	完了					
資源方向性	予算		〇現状 〇縮小	١	業務量	●拡大()現状 〇縮小	1		

事務事業調書(後評価)							
事務事業名	駅前3	を流拠点施設約	准持管理事業			事業開		成30年度		
担当課		圣済部 商工額	見光課		担当者	笹 笹 港	召 雅			
■事業の執行計	画【計									
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	つ商工業基	盤の充実と強	化				
	基本		まちなかのに							
事業の目的	さくら	市の玄関口で	ある氏家駅前に記	9置された	交流拠点を適	正に維持管理	を行いさくらī	市		
争未の日的		₹を促進する。								
事業の概要	駅前る	を流拠点の全般	的な維持管理事業	Ř						
サ未の似安		R前のにぎわい								
■事業実施結果	【実施	E(Do)】								
		年度	平成30年	度	令和え	元 年度	令和2	2年度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当	初		
		総事業費	22, 876		13, 6	634	23, 9	968		
■前年度の事業	分析	(評価 (Check								
	指標	+七.	—————— 標名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	区分	184	际位例	中心	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	施設利用者		人	39, 930	35, 755	19, 000	30, 000		
74 100 00 12 12	.,,,,,				,	,	,	,		
	成果	観光入れ込み客	数	人	1, 895, 294	1, 954, 537	1, 450, 000	1, 660, 000		
	評値	●達成、	概ね達成した()多少は遺	 成した Oi	達成できず	Ļ			
達成度の	P 1 11		<u> </u>				・比較すると濾	かしてし		
評価と説明	説明		E1C 20 C18, 11	петь.	D 数 i	- /3 、 in in 十/文 C	- 10+X 7 0 C 1/5			
	пло	,, 5 / 2 °								
			. = +	→ 人山山土	てが土だ吐目	見が必亜 〇	Д₩ +> I			
見直し余地	判员	□ ○数年内	に見直し可能(宋地はん	うるかまたみほ	コノハ・ルメチャー ししっ	おかみし			
見直し余地 ■将来方向性【	判5 改善		に見直し可能(●宗地はめ	るがまだ時間		余地なし			
		(Action)]	に見直し可能 (見状どおり継続	●宗地はめ		<u> </u>	未地なし			

事務事業調書(通常評		(全)						
事務事業名	店前景	観整備推進引	業				始年度 令	和元年度	
担当課	産業経	産業経済部 商工観光課 担当							
■事業の執行計	画【計	【計画(Plan)】							
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	の商工業基	盤の充実と強	化			
	基本事	業 04	まちなかのに	こぎわい創	出				
事業の目的	商店の	店の店前・店内のおもてなし表現の向上による立寄り率・客単価の増加を推進するため							
事業の概要	成を実		により立ち寄り	率向上を図	るため、店前	景観の改修に	係るデザイン	作	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	平成30年	度	令和え			2年度	
事業費の推移	実績	i/当初予算	実績		実績		=======================================	初	
	彩	総事業費	0		10, 6	682	19,	730	
■前年度の事業		評価(Check)							
	指標	t⊵±	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	区分	JH1	宗句 你	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	デザイン作成を	実施した件数	件		12	10	10	
	評価	●達成、	既ね達成した (○多少は遺	成した 〇章	達成できず			
達成度の		商店街等(の事業主への研修	会(氏家	・喜連川)を実	₹施し、機運酮	譲成を図りなれ	がら、募集を	
評価と説明	説明	説明 行った。当初予定10件を上回る12件のデザイン作成を実施できた。							
見直し余地	判定	●数年内	に見直し可能 (○余地はあ	るがまだ時間	引が必要 O	余地なし		
■将来方向性【	改善(Action)							
事業の方向性		し継続 〇羽	見状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算	額 〇拡大	、●現状 〇縮小	1	業務量	○拡大	▶現状 ○縮小	\	

事務事業調書(通常評価	五事業 事後	(評価)						
事務事業名	企業振興	興協議会					始年度 平	成28年度	
担当課	産業経済		見光課		担当者	f 山	田知明		
■事業の執行計		🗓 (Plan) 】							
	政策								
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	癿			
	基本事業		雇用環境の発						
事業の目的	人材の確	隹保、共通す	る課題の対策に国	取り組むこ	とで市内企業	を支援し、地	域経済の活性	化	
予未の口口	を図る。								
事業の概要			工会、ハローワ-	-ク、市が	連携し、企業	の抱える問題	や課題の対策	を	
		<u> きを実施する</u>	0						
■事業実施結果		(Do)]							
		年度	平成30年	度	令和え			2年度	
事業費の推移		/当初予算	実績	実績				i初	
		事業費	3, 292		3, 0	00	3, 0	000	
■前年度の事業		平価 (Check)							
	指標	指札	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	区分	101	ж. п . Ыл.	T 2	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果企	- 業振興協議会	会員数	人	105	110	115	120	
10 100 10 10	////							.20	
			n= 1 += 1			± 0 - 1 18			
\ 	評価			○多少は遺		達成できず			
達成度の	= 1/ = =		の周知や企業訪問						
評価と説明	説明		〒子の作成や、就	活セミナー	−・企業との交	流会について	、就活生·企業	業ともに大変 │	
			ることができた。	<u> </u>	. 		A 1-1 /- 1		
見直し余地	判定		こ見直し可能 (●余地はあ	るがまた時間	引が必要 〇	<u>余地なし</u>		
	71	ction)]	7.15.18 to 11.666.64	<u> </u>	<u> </u>				
事業の方向性	〇見直U	- 1- 170 - 2	現状どおり継続	〇廃止・			N-10-11 0 1-1		
資源方向性	予算額	額 〇拡大	:●現状 ○縮小	\	業務量	●拡大()現状 〇縮小	\	

事務事業調書((と) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注						
事務事業名	砂利採	石監視対策事	業			事業開	開始年度 平	成26年度	
担当課	産業経	経済部 商工額	見光課		担当者	f 山	田知明		
■事業の執行計		·画(Plan)】							
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	の商工業基	盤の充実と強	癿			
	基本事	第 99	総合事業						
事業の目的	市内の	5内の違法採取をなくし、災害を未然に防ぐことを目的に							
事業の概要		砂利採取の際、県の基準が適正に遵守されているか監視業務にあたる。							
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	平成30年	度	令和え			2年度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	当初		
	i	総事業費	994		91	17	8	95	
■前年度の事業		[評価 (Check)							
	指標	塩		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	区分	181	宗石が	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	問題発生件数		件	0	0	0	0	
	評価	」●達成、	概ね達成した (○多少は遺	成した Oi	達成できず		•	
達成度の									
評価と説明	説明	1							
	,								
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(〇余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●	余地なし		
■将来方向性【	改善(Action)	· · ·						
事業の方向性		[し継続 ●理	見状どおり継続	○廃止・	完了				
資源方向性			、●現状 〇縮小	\	業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	

事務事業調書(通常評価		(評価)					
事務事業名	勤労者的	主宅資金融資	『事業			事業開	開始年度 平	成26年度
担当課	産業経済	斉部 商工観	見光課		担当者	山山	田知明	
■事業の執行計	画【計画	🗓 (Plan) 】						
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	02	安定と発展の	り商工業基	盤の充実と強	能化		
	基本事業	集 99	総合事業					
事業の目的	勤労者世	世帯の住宅建	設資金調達の円差	骨化が図ら	れる。			
事業の概要	度。市は		する際の資金をF 働金庫へ融資原資			制定したさく	ら市の融資制	
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	平成30年	度		元年度		2年度
事業費の推移	の推移 実績/当初予算		実績		実績		<u> </u>	初
	総	事業費	900		60	00	5	00
■前年度の事業		平価 (Check)						
	指標	±⊵±	票名称	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	区分	111	示 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	辛匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果預	質託金の額		円	900	700	500	300
	評価	■達成、	既ね達成した(○多少は遺	を成した 〇章	達成できず		
達成度の 評価と説明	説明							
見直し余地	判定	○数年内	こ見直し可能 (つ全地 けお	るがまだ時間	閉が必要 ●	余地なし	
		ction)			7 W W W ICHIN	H] N XL' X	71E.O.O	
事業の方向性	〇見直1		現状どおり継続	〇廃止・	完 了			
資源方向性	予算		· ○現状 ●縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\ <u> </u>
ラス //ハノ ノーコーユ	J #				不切主			